

たかしま市民協働 交流センターだより

20号
2013年7月発行



ぎょうれつ本舗／社会福祉法人虹の会

連絡先：高島市新旭町北畠 45 TEL&FAX：0740-25-5315
URL：<http://shiganinokai.net/>

虹の会 高島

INDEX

- 特集 協働って何だろう？
～誰もが主役のまちづくり～
- たかしまの元気！企業～白浜荘～
まちづくりは10年、20年先を考えて「先手」でおもてなし
- 市民活動の小ネタ
「活動を多くの人に伝えよう！協働と参加を広げるために」
- たかしま市民協働
交流センターの事業紹介
- いろいろやってます！in たかしま
市内でがんばっているNPOや市民活動団体を紹介
- インフォメーション

高島市協働提案事業として、昨年から実施されている「ぎょうれつ本舗」は、買い物が困難な地域への支援と、販売員をする障がい者が地域社会で働く仕組みとして、現在4コース、20地域を対象に移動販売を行っています。誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるまち、障がいのある人もともに暮らせるまちを目指して、社会福祉法人虹の会と高島市が協働で取り組んでいます。

積極的にあいさつや商品説明をする販売員の方は、「販売の仕事を楽しく、地域の方が待っていてくれるのが嬉しいです。」と言います。地域の方に頼りにされている気持ちが社会で生きる自信にもつながります。買い物をする地域の方は、自分で見て買う楽しさを味わうだけでなく、定期的な販売によりお互いに顔を合わせ、地域内の見守りにつながります。継続できる仕組みとするために、虹の会と高島市は議論を重ね、販売個所を増やすことや過疎地域の安心を支える事業を検討しています。

INFORMATION

市民による、市民のための
たかしま・未来・円卓会議
参加者を募集します！

市民一人ひとりが高島の未来を考え、意見交換をする「たかしま・未来・円卓会議」を毎月開催しています。

みなさんのご参加お待ちしております。

第2回 たかしま・未来・円卓会議 環境とまちづくり編 その1

日時 7月6日(土) 13:30～16:30

場所 今津東コミュニティセンター 大ホール 定員：30名

内容 まちぐるみでエコ活動に取り組み、一人ひとりが地域のために行動する元気な農村など、先進事例を聞き、高島で私たちにできることを話し合います！

第3回 たかしま・未来・円卓会議 環境とまちづくり編 その2

日時 8月3日(土) 13:30～16:30

場所 畑の棚田ふれあい交流館(予定) 定員：30名

内容 畑の棚田保存会の方から、都市部の棚田オーナーとともに水環境と歴史ある棚田の風景を守る仕組みについてお聞きし、守るべきものを未来へつなぐために話し合います！

風と土の交藝 in 琵琶湖高島 2013

サポートスタッフを募集します！

高島市に住む手仕事作家さんのお宅や工房をめぐり、この地で生み出された作品やステキな暮らしに触れるイベント「風と土の交藝 in 琵琶湖高島」。今年で4回目を迎えるこのイベントのサポートスタッフを募集します。

今年度の「風と土の交藝 in 琵琶湖高島 2013」は、11/29(金)・11/30(土)・12/1(日)【前半】と12/6(金)・12/7(土)・12/8(日)【後半】の2週にわたり開催します。

また、今年は「たかしま市民協働交流センター」もイベント運営のお手伝いをさせていただくことになりました。

高島市の新たな魅力を共に創り上げていきましょう！

※昨年度までの様子は、[風と土の交藝](#)で検索してください。



風と土の交藝 in 琵琶湖高島の様子

新スタッフ紹介！ 4月に入りました新スタッフをご紹介します。



事務局長 坂下靖子

高島で有機農業を始めて早8年。地域で活動するみなさんとともに高島の魅力を高めていきたいと思っています。



協働コーディネーター 原田将

高島の人と自然に魅かれ、家族で移住して4年。素敵の人や活動をつなげ、素敵な高島に暮らし続けたいです。

ぱい
きつけ
がな

たかしま市民活動フェスタ 2013

～ひびきあう“わ”をつなげよう～

参加団体を募集します！

誰もが安心して住めるまちにしたい！子どもたちに自然体験をしてほしい！地域の魅力を発信したい！など高島で様々な市民活動に取り組む団体が集まり、市民に活動を紹介し、交流し、市民も市民活動団体も、おたがいにひびきあう“わ”をつなげる1日にしたいと思います。

参加団体のみなさんとともに、当日の活動紹介の方法などを考えます。ご参加お待ちしています。

市民活動フェスタ 2013 ～ひびきあう“わ”をつなげよう～

日時 10月18日(金)～19日(土)

場所 今津東コミュニティセンター 全館

参加団体募集期間 7月1日(月)～7月31日(水)午後5時まで

参加団体説明会 ① 8月9日(金)19:30～ 今津東コミュニティセンター

② 8月11日(日)15:00～ 今津東コミュニティセンター

※①、②いずれか1回にご出席いただけます。
申込方法 詳細については当センターにお問い合わせください。

東コミセン・ロビー活用プロジェクト！

「LALALA カフェ こみにて」を活動のミーティングなどに使いませんか？

たかしま市民協働交流センターがある今津東コミュニティセンターのロビーを、サークルや市民活動などの打合せや会議の場として、無料でご利用いただけます。

パソコンやコピー機、輪転機も事務所に設置しております。今後はホワイトボードを設置し、インターネットも利用できるようロビーサービスの拡充を図っておりますので、ぜひ、ご活用ください。

皆さまのお越しをお待ちしております。



◆ このページに関するご応募・お問合せ
たかしま市民協働交流センターまで、お気軽に
お問合せください。

発行/たかしま市民協働交流センター

〒520-1622 滋賀県高島市今津町中沼1-4-1
(今津東コミュニティセンター内)

TEL / 0740-20-5758 FAX / 0740-20-5757

MAIL / webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp

[facebook](https://www.facebook.com/tkkctakashima)

[twitter](https://twitter.com/tkkctakashima)

業務時間／祝日を除く月～金曜日 9時～17時



この印刷物は、古紙パルプを配合した再生紙
大豆油インキを使用しています。

特集

協働つてなんだろ？

「だれもが主役のまちづくり」

たかしま市民協働交流センターの名前にもある「協働」。市の広報4月号にも、今年度の協働提案事業について紹介されています。私たちの生活の中で時々田にする「協働」という言葉。今回は、まちづくりのために大切な言葉、「協働」について考えてみました。

「協働」という言葉には、どんな意味があるのでしょうか？

「共同」や「協同」どちらの意味の違いがあるのでしょうか。辞書には次のようにあります。

「共同」 = あるものに対して複数の者が同じ立場に立つこと
 「協同」 = 複数の個人や団体が同じ目的のために事にあたること
 「協働」 = 同じ目的のために協力して働くこと
 「共同」は、共同生活、共同作業というように一心同体を表しています。
 「協同」は、協同組合や産学協同などのように一致団結して目的を達成する状態です。
 「協働」は、コラボレーションやパートナーシップとも言われます。同じ目的を達成するために、立場の違う者がお互いに協力し、補い合いながら働くことを表しています。

「協働」って、どんなことをするのでしょうか？

高島市では、平成20年3月に「市民協働のまちづくり推進指針」が作られました。その中で「協働」とは、
 「市民同士、または市民と行政が良きパートナーとなって、相互の信頼と責任を担い合い、お互いの特性や能力を発揮しながら、まちづくりという共通の目標に向かって連携し、共に育ち合う関係」と書かれています。
 ここで言う市民とは、個人だけでなく、自治会や町内会、NPO・市民活動団体、企業など、高島市で働き、生きるすべての人や団体を指しています。
 例えば、子どもたちの安全や安心を守るために、通学路などで地域の方による見守り活動がされています。学校だけでは目が届かない通学途中を市民の力で見守っています。



さらに、地域の商店や事業所などで「いじもー110番の家」というステッカーなどを見かけます。市民の安全を守る警察だけでなく、市民みんなで子どもたちを見守る仕組みです。市民と学校と警察との協働です。
 自治会の活動で、河川や公園の樹木管理や整備をするのも行政との協働です。
 さらに、市民活動団体と地域住民、公園を設置する行政が一緒に公園の利用について話し合い、公園をもっとお互いの特性や能力を発揮しながら、まちづくりという共通の目標に向かって連携し、共に育ち合う関係」と書かれています。



「協働」を進めるために大切な原則があります。

- (1) 対等の原則
- (2) 自主・自立の原則
- (3) 相互理解の原則
- (4) 共有の原則
- (5) 公開の原則
- (6) 評価の原則

誰もが安心して暮らせるまちを目指して、市民が市民同士で、あるいは行政とともに、それが対等の立場で、できることや特技を活かして、共通のまちづくりのために、協力し合い、活動団体など、できること、関心のあることから参加してみてください。

たかしま市民協働交流センターでは、10月に「たかしま市民活動フェスタ2013」を開催します。
 まちづくりや環境保全活動、障がい者支援、子育て支援などをを行う市民活動団体が一堂に集まり、活動の紹介します。市民活動やボランティア活動との出会いの場へ参画してみてください。

活動団体など、できること、関心のあることから参加してみてください。
 どちらの事業も参加者同士の意見交換や交流をとおして、お互いを理解し、同じまちづくりの目標に向かう協働の始まりの場です。ぜひご参加ください。

「協働」は、一人ひとりが主役のまちづくりが主役のまちづくりが

今、暮らしている地域の10年後を想像してみてください。どんなまちになっていたら、いいと思いますか？

子どもたちは元気に外で遊んだり、友達と交流したりしているのでしょうか。ご近所同士では気軽に声をかけ合い、お互いに小さなお手伝いなどで支え合っているのでしょうか。子育て中のお母さん同士で悩みや楽しさを話し合える場があるでしょうか。障がいのある人も地域で仕事や暮らしをともにしているのでしょうか。森や山は豊かに木々が育ち、琵琶湖は美しいままであります。

まちづくりに関する計画や事業を議論する「委員会」などの公募、市民が地域の課題解決のために市とともにできることを提案する協働提案事業の募集などは、地域のことを私たちの視点とできることで、参加し、実施し、私たちにとってより便

たために市とともにできることを提案する協働提案事業の募集などは、地域のことを私たちの視点とできることで、参加し、実施し、私たちにとってより便



「協働」が広がるとどうなるの？

「ミユニティセンター」や運動公園、健康づくり施設、森林体験施設など、公共施設を「指定管理者制度」により、NPO・市民活動団体や企業などが管理運営しています。
 公共の施設を市民がより使いやすいように、市民が管理運営しているのです。
 まちづくりに関する計画や事業を議論する「委員会」などの公募、市民が地域の課題解決のために市とともにできることを提案する協働提案事業の募集などは、地域のことを私たちの視点とできることで、参加し、実施し、私たちにとってより便

たために市とともにできることを提案する協働提案事業の募集などは、地域のことを私たちの視点とできることで、参加し、実施し、私たちにとってより便



昨年の「たかしま市民フェスタ」では、ポスター展示でたくさんの市民活動の紹介がありました。

「協働」や「市民活動について」のご相談は
たかしま市民協働交流センターへ
 ご連絡ください。

市民活動の小ネタ

「活動を多くの人に伝えよう！ 協働と参加を広げるために」

地域にある課題に対して活動をされているみなさんは、どのように活動を伝えておられるでしょうか。「家にこもりがちな高齢者が気軽に集えるサロンを始めた」「地域の誇りとしている花をボランティアで保全している」「子どもたちの自然体験をサポートしている」など、取り組まれている活動について、どんな広報をされていますか？

活動を始めたきっかけや目的、活動を通して目指すこと、活動の様子などをわかりやすく多くの方に伝えることによって、活動に加わりたい、活動を応援したい、参加したい、という人や団体・企業・マスメディアとの出会いが広がります。イベントや活動などのチラシや広報紙などを作成して活動を多くの人に伝え、共感する仲間、支援者を増やしてください。

広報のためのポイント

広報は、団体の目的や団体の活動を「他人」に理解してもらい共感や協力を得るためのものです。広報の相手は活動を知らない「他人」＝外部と考えて、知らない人に伝えることを意識して作ってみてください。専門用語を使う場合は注意書きを入れることも大切です。

5W1Hを整理してみよう

①いつ(When)、②どこで(Where)、③誰が(Who)、④何をする(What)、⑤なぜ(Why)、⑥どのように(How)を整理し、5W1Hに入りきらない背景などは⑦アピールポイントとして書き出します。

文章にする場合、「③誰が、④何をする」から始め、読み手が一番知りたいことを最初に伝えます。次に、段落を変えて「⑤なぜ、⑥どのように」を書きます。さらに段落を変えて⑦のアピールポイントを書きます。「①いつ、②どこで」は大きめに箇条書きすると目に留まりやすくなります。

「誰が」の団体名ですが、ぜひ、団体を一言で紹介する文を考えてみてください。例えば、「高島の市民の活動を支えてつなぐ、たかしま市民協働交流センター」というような団体の活動を表す文を前に付けることで、ぐっと活動が伝わりやすくなります。

予告情報

10月19日（土）開催予定の「たかしま市民活動フェスタ2013」は、市民に活動を知つてもらうイベントです。NPO・市民活動団体の参加募集をおこないます。分かりやすい広報紙やチラシで来場者や他の団体に活動を広報してください！

● 紙用大型裁断機 (無料)	1泊2日	当 日	施設外 施設内	料金： 施設内 施設外	● 機材貸出 プロジェクトエクター ビデオカメラセット	料金： 施設内 施設外	● ファックス受信 (ただし容量による)	料金： 1枚 1件	横断幕 (50cm当たり) 1枚	● コピー＆プリンタ (A3サイズまで)	料金： A1/A2 1枚250円 1枚300円	● 大判プリンター (A1サイズまで) フルカラーのポスター作製 (横断幕や垂れ幕の作成などに ご利用ください。)	料金： A1/A2 1枚250円 1枚300円	● パソコン (一台インターネット接続可) (ワード、エクセル、パワーポイント) イラストレーターCS4など	料金： 30分まで 1時間まで 2時間まで	● どうやって活動資金を作ればいいの？ ● NPO法人設立 ● 何か活動したいのだけど…。 ● 会員やボランティアを集めるには？ ● 運営に関する相談 ● 認定NPO法人に関する相談 ● まずはご相談ください。
2000円	料	1000円	無	料	1000円	料	10円	10円	10円	料金： 1枚 1件	10円	料金： 1枚 1件	10円	料金： 1枚 1件	10円	

地域を支える協働のパートナー、高島の地域を盛り上げる企業をご紹介します。

たかしまの元気！企業

まちづくりは10年、20年先を考えて、「先手」でおもてなし

-白浜荘- 代表取締役 前川 為夫さん



今年4月、国土交通省の「水のめぐみ」とふれあう水の里の旅コンテスト2013で優秀賞を受賞された白浜荘さん。高島の魅力をお客様へ提供し、足元にある資源を活かして旅館経営をされています。地域への思いを代表取締役 前川為夫さんにお聞きしました。

■ 高島の魅力は歴史・文化、自然、中江藤樹先生の教え

◆ 高島の魅力というと何を挙げられますか？

高島の魅力は、近江最古の白髭神社の歴史や文化、自然の豊かさ、中江藤樹先生の教えだと思います。

特に藤樹先生の教えは、地域の誇りとして子どもたちにしっかりと伝える必要があると思います。高島の誇りを市民が理解し、観光などで来られる方にもお伝えできるように施設の整備も必要です。さらに、高島の湖岸や朽木など山間の風景の中に滞在しながら市内外で観光や体験をする滞在型観光を提案していきたいと考えています。今後も、地域で頑張られている方、そして行政の方々と共にスクラムを組んでお手伝いできたらと思います。特に、町歩きされる来訪客が増えて、町がにぎやかになればと思います。

お客様が求められるものや喜びを「先手」でご用意していくこと、先を読むおもてなしこそ大切だと思っています。

■ 10年先、20年先を考えて事業や地域を見る

◆ 「先手」を打つためにされていることは？

全国の旅館やホテルの組合である全旅連青年部で、全国の同業者と交流し、取り組みを訪ねる機会をいただき、外の視点から地域の課題を見ることができました。他県の先進的な取り組みや地域づくりからアイデアを得ています。また事業展開や地域活性化のアイデアのために20年手帳を作っています。長期的に事業や人生を考えることができ、事業展開やまちづくりのアイデア、人生訓などを蓄積しています。

地域のために積極的に発言し、具体的に行動される姿勢は市民主体の地域づくりの原点だと思いました。

政府登録旅館 **白浜荘**
〒520-1223 滋賀県高島市安曇川町近江白浜
TEL:0740-32-0451 FAX:0740-32-0411
ホームページ [白浜荘](#) 琵琶湖で検索

「市民活動を始めたい」「NPO法人設立について相談したい」「まちづくりのためのボランティアを募集したい」「活動のために助成金を探している」「活動を広く知ってもらいたい」「会員や寄付を増やしたい」など、市民活動の運営に必要な情報を発信し、相談会や講座などを開いて、相談や講座などを開いて、市民活動やまちづくりを応援しています。お気軽に相談ください。

センター事業紹介

たかしま市民協働交流センターをご利用ください！

いろいろやってます！in たかしま

トトでは、市内のNPO、特徴的な活動のまちづくり団体や自治会が、どのようなきっかけで地域の課題に気付き活動を始めたのか、また活動の輪を広げていったのか、など、活動を展開する上での喜びや課題、これからのビジョンなどを取材して紹介します

『コスモスカフェ』がつなぐ地域の絆



ワンコインカフェ用のおやつ作りの様子

藤江区 福祉推進委員会

安曇川町四津川にある藤江区では、平成8年に「ここに住んでいて良かったと思える地域にしたい」という一人の女性の呼びかけで、福祉推進委員会が立ち上げられました。3年前には「ワンコインカフェ」のスタイルを高島エ※のスタイルを高島

市内でもいち早く取り入れ、現在「コスモスカフェ」として、第3日曜日の9時半から11時半までオープン。毎回、お年寄りから子どもまで世代を越えてたくさんの方々が来られるそうです。第1日曜日にはサロンとして、音楽療法、落語、手品、体操、レクリエーション、健康の話し等々、様々な企画を行なうほか、男性参加者を増やすため、男の人だけのサロンを開催。年2回のお料理会や12月には80才以上の方に簡単なプレゼントを配る友愛訪問など、様々な工夫を凝らしておられます。参加される方

は当然のことながら、運営している委員の方々も本当に嬉しいひと時を過ごしておられるようでした。

大切なのは、「声かけ」

女性8名でスタートした福祉推進委員会は「声かけ」で輪を広げ、現在30名の女性たちが関わっておられます。この推進委員会は立ち上げ当初より、「サロンの手伝い」としたい、自分にできるボランティアを」とのそれぞれの思いで集まっており、推進委員が大勢いることと、当番制にしていることが、長続きしている最大のポイントだそうです。「ある日、道を歩いていると、『なんですか？』といつもの仲間に声をかけられ本当に嬉しかった。みんなが顔をあわせ、みんなの笑顔に出会えるのが、この会の魅力」とおっしゃる参加者の、その笑顔が本当に素敵でした。

*「ワンコインカフェ」とは…。
ワンコイン（大半は100円）で、
その活動に参加できる喫茶サロ
ンのこと



藤江区 福祉推進委員会
藤江区老人憩いの家
(高島市安曇川町四津川45-1)
会員数／30名
設立／平成8年(1996年)
取材対応／梅村 頼子

● 連絡先

たかしま市民協働交流センターにお問い合わせください。

「面白い、楽しい」から地域を考える



高島市青年協議会

高島市青年協議会（以下、市青協とする）は、平成17年に（高島市合併に伴い）発足しました。市内には、マキノ、今津、新旭、朽木の4地域に青年団があり、各団それぞれ地域での活動を中心しながら、市青協として地域での連携にも力を入れ、現在約50名で運営しております。今回は、市青協の副会長である住友亞也子さんと事務局長の松井亮さんのお二人にお話を伺いました。

市青協は、「地域における青年の役割や、具体的な活動について考え、実践に結び付ける」ことを目的に（滋賀県・全国）青年大会※への参加や【研修旅行の開催】をはじめとした様々な活動を行なっており、何をする時にも、まずは会員が「楽しむ」ことを大切にしているとのことです。その他、地域ごとの青年団活動では、【映画祭の開催】や【地区の清掃活動】、12月には地域

の子供達へクリスマスプレゼントを届ける【サンタ事業】など、「ここに住んでいてよかったです」ところから「高島っていいな」と思ってもらえるような活動を精力的に行っておられます。

若者が次代を担う

「地域の方に『若い人が頑張っているのを見るとうれしい』と言つてもうつたり、子供達が喜ぶ姿を目の当たりにして本当にうれしかったです」と答えるお一人ですが「市内に若い人が減つていて、青年団員を勧誘していくことが大きな課題だ」ともおっしゃっておられました。

こういった若い世代の方が、青年団活動を通じて、地域の課題に目を向け、それを人に伝え、協力しながら五年後、十年後の高島市を創っていくのだと感じました。

*「青年大会」とは…。
各都道府県の若者が日頃取り組んでいるスポーツや文化活動の発表の場。



高島市青年協議会
(高島市今津町日置前100)
会員数／約50名
設立／平成17年(2005年)
代表者／会長 桂田 孝太

● 連絡先

090-8826-5696
事務局長 松井 まで

精神障がい者とその家族そして地域



NPO法人 近江湖西会

マキノ支所のほど近く、路地を少し入ったところにNPO法人近江湖西会さんの活動拠点「マキノばら園」はありました。電気製品などの部品加工やラズベリーの栽培、ジャムの加工販売等を通して、主に利用者（現在9名）の就労支援等の活動を地道に続けておられる理事長の加河昇さんと社会福祉士と精神保健福祉士の資格を持つ奥さまの千佳子さんにお話を伺いました。大阪から移住されたお二人は、高島市精神障害者家族会への参加を機に、会を開設し、翌年には精神障害者共同作業所として事業を開始。平成21年には、就労継続支援B型施設として国から認可され、現在、法人の会員25名で運営しておられます。

精神障がいに対する正しい理解と必要な医療、福祉制度の向上、発展を目指した活動を展開されていますが、高島市内には同種の支援施設が2ヶ所しかなく、信頼できる人には会になつて欲しい」また、「利用者が良くなつていく過程が見えはじめるとうれしい。そうやって子供さんはもちろん、親御さんや地域の方が私たちの活動を信頼して下さることがとても大事なんです。」とおっしゃっておられました。



NPO法人 近江湖西会
(高島市マキノ町大沼4-1-1の2)
会員数／25名
設立／平成17年(2005年)
代表者／理事長 加河 昇

● 連絡先

電話・FAX
0740-20-1144